

◆家庭教育学級の開設状況

年代	小中学校区家庭教育学級開設
昭和39年	家庭教育学級を市内小・中学校でスタート
46年	「学習のあしあと」発行
47年	若狭小・向陽中
48年	泉小
50年	美原中
51年	安松小
52年	北秋津小・美原小
53年	林小
54年	宮前小
55年	牛沼小
56年	上新井小・狭山ヶ丘中
57年	北野小
58年	荒幡小・椿峰小・安松中
59年	並木小
60年	並木東小・中央中・北野中・上山口中
平成元年	北中小
2年	中新井小
4年	東所沢小
8年	和田小
18年	中央小（中新井小と並木東小の統合） 【上記の学校以外は、昭和46年以前に開設】

◆家庭教育学級のあゆみ



▲『萌芽から草創へ』 昭和40年代まで

- ◇学校教育の現代化・学力の向上を求めうねり
⇒学校教育に関する学習機会の誕生（昭和39年）
⇒家庭教育学級生による報告集「学習のあしあと」刊行（昭和46年）

▲『拡充と発展へ』 昭和60年代まで

- ◇校内暴力・家庭内暴力の急増等社会問題化
- ◇小中学校でいじめ増加・子どもの情緒問題化
⇒「組織的運営の確立」と「学習内容の充実を図り、好ましい人間関係を作り出す」を運営目標に掲げる
⇒「学習のあしあと」を学級運営・企画の手引き書に位置づける

▲『本格的な生涯学習時代へ』 平成時代

- ◇少子化・個性重視・豊かな心・親の学び
- ◇学校・家庭・地域の連携による地域教育力の発揮を
⇒多様な学習施設の活用と学級間の交流（代表者会議・ブロック会議）
- ◇家庭の教育機能向上が極めて重要な課題
教育基本法の改正（平成18年）
⇒保護者の子どもの教育に対する責任や教育行政の家庭教育への支援が明記される

所沢市ホームページ
「家庭教育推進事業」



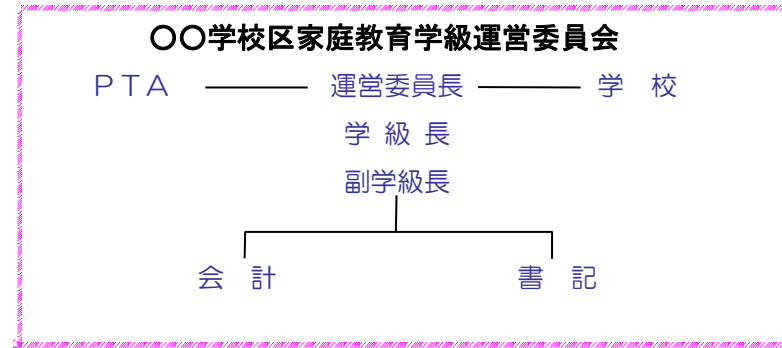
▲『多様性の時代へ』 令和時代

- ◇情報公開と評価
⇒各学級の特色ある講座の公開と研究協議会等での発表
- ◇ライフスタイルに合わせて（家庭教育学級HP『ところん学級』の開設）

◆家庭教育学級の開設にあたって

開設にあたっては、原則として、学校・PTA正副会長等の役員・学級生の代表・その他関係機関の代表等によって運営委員会が組織されます。

運営委員会は、家庭教育学級の基本方針を決定します。また、学級全体について協議し、学級生の自主的な活動が効果的に実施されるように、条件を整える重要な役割を果たします。従って必ず設置することが必要です。



◆運営委員会とPTAの関わり

PTAや家庭教育学級・学校・地域社会が密接な連携を保ちながら、個性豊かな活動を行うことにより、学校区を生かした豊かな教育活動の展開が期待できます。生涯学習推進の立場からも、PTAには学級への強力な支援・協力が望まれます。

◆学級生として参加できます

家庭教育学級の対象は、市内小中学校児童生徒の保護者を中心とし、各学校区の家庭教育に関心のある方も学級生として参加することができます。

教育委員会では、社会教育指導員を配置して、各家庭教育学級の企画・運営、学習計画に関する相談、講師紹介などの支援活動を行っています。

所沢市教育委員会

〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1
教育総務部社会教育課
TEL 04-2998-9242 FAX 04-2998-9167

令和5年3月

家庭教育学級のご案内

今こそ家庭教育に活力を

あなたの学び 応援します



◆家庭教育学級の趣旨

家庭教育学級は、子どもたちの健やかな成長のために、保護者や地域の方々が家庭での教育や子育てについての学習を自ら企画し自主的に学ぶ場です。また、学級生同士が交流を通して互いに子育て等の情報を交換することも目指しています。

所沢市教育委員会では、積極的に家庭における教育力の充実・向上を図るために、市内小中学校の家庭教育学級運営委員会に委託契約をし、学習の場を提供しています。

所沢市教育委員会

《家庭教育は全ての教育の原点》

家庭は、子どもにとって最初の学習の場であり、人間形成を図る上で重要な役割を果たします。家庭での教育は、基本的な生活習慣や自制心や自立心、豊かな情操、善悪の判断などの基本的倫理観、社会的マナーなどを育むものであり、学校や地域社会での子どもたちの活動に、影響を与えるなど全ての教育の原点といえます。

家庭教育学級では、このような重要な家庭での教育の在り方について再認識し、知識を深めながら様々な学習を通して親としての資質を高めることを目指しています。

所沢市教育委員会では、子育てに関する学びの機会を提供するために、「心豊かな家庭づくりを支援する事業」として、家庭教育学級を開設しています。

《家庭教育充実の重要性》

近年、都市化、核家族化、少子化などに伴い家庭の教育力が低下していると懸念されています。また、昨今の問題となる青少年の行動の背景には、家庭の教育の在り方が密接に関係しているといわれ、家庭の教育力を高めていくことが極めて重要な課題となっています。行政の役割としても、家庭教育の一層の充実・向上を図るために、家庭を見つめ直す契機となるような学習の機会を提供するなど積極的な支援が求められています。

そのような時勢のもと、平成18年には、「教育の憲法」といわれる『教育基本法』が改正され、家庭教育の重要性が明記されました。

(家庭教育)

第十条 父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであって、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

2 国及び地方公共団体は、家庭教育の自主性を尊重しつつ、保護者に対する学習の機会及び情報の提供その他の家庭教育を支援するために必要な施策を講ずるよう努めなければならない。

『教育基本法』より



人権教育合同講座の様子(令和4年7月:松井公民館)

家庭教育学級の学び

〔期間〕 6月初旬～1月下旬

〔学習時間〕 年間おおむね18時間程度

〔学習形態・学習内容〕

- 講演・講義…子育て・人権・環境・防災・進路・安全な生活・救命講習 など
 - 心身の健康…食育・思春期の心と身体づくり・ストレッチ・ヨガ など
 - 施設等見学…角川武蔵野ミュージアム・グリーンセンター・郷土の史跡・工場 など
 - 実技・実践…プログラミング学習体験・家庭科授業体験ものづくり・ハバリウム作り・クリスマス作り など
- 〔修了証書授与〕 運営委員会の決定により授与



年間学習計画 (例)

学習計画は毎年学級生の願いや希望をもとに作られます

〈学習目標〉		〇〇〇〇学級 ふれ合おう 語り合おう 育もう	
回	月日	学習課題	学習内容
令和元年度までの実践例(コロナ禍以前)			
1	6月0日		・校長講話
2	6月0日	防災・安全	・災害時における心構え ・応急手当の知識と技術
3	7月0日	人権教育 (合同講座)	・視聴「君が、いるから」 ・講話「インターネットがもたらす人権」
4	9月0日	環	・環境教育の重要性の見える化
5	10月0日	栄養・食	・食育の重要性の見える化
6	11月0日	子育て支援 (公開講座)	・成長期の子どもの心身の対応
7	12月0日	地域・郷土	・所沢の施設・史跡・食文化や伝統文化について知る ～所沢航空発祥記念館見学と地産地消～
8	1月0日	閉講式	・修了証書授与 ・学習のまとめと反省会

学級生の感想…

子育ては、自分だけでなく、夫婦だけでなく、お友達のパパやママも一緒にできると助けたり、助けられたり、色々な場面で救われることが多いと思います。是非、そのような仲間づくりを増やせる機会に家庭教育学級がなるといいなと感じています。先生方のお話を聞くことができ、とても勉強になりました。

『閉講式後のアンケート』より



学級生の感想…

子育てには正解がなく、この育て方でいいのか悩むことがあると思います。家庭教育学級で子育てに関して様々な方から子育てのヒントになる視点を頂くことができました。こうした様々な視点があることで、子どもたちの成長を1点からだけでなく、様々な角度から見るできるようになると思います。専門家の方から子育てに関する多様な視点を学べることはとても貴重なことであり多くの保護者がこうした学びをすることで、自分の子育てだけでなく、地域の子どもの健やかな成長につながると思います。

『閉講式後のアンケート』より

学級生の感想…

家庭教育学級は、どなたでも気軽に参加できる保護者のための子育て講座です。私自身2度目の役員を経験した中で、参加していただいた保護者の笑顔がとても印象に残っております。大人になってからの「学び合い」の機会は、大変貴重だと思います。

学びが「気づき」やコミュニケーションの場を再び支えてくれるきっかけにもなると感じております。日々、子育てに悩む保護者の皆様によりそう家庭教育学級が今後も続きますように願っております。

『閉講式後のアンケート』より

学級生の感想…

親が学び、子どもも学び、心も体も豊かになり、とても感謝の気持ちでいっぱいです。また、楽しい講座やためになる講座を受けたいと思います。

『閉講式後のアンケート』より